

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用基準
10月上旬	黒点病	ベンコゼブ 水和剤	600倍	30日～4回
発生時	ミカンハダニ	コロマイト 水和剤	2000倍	7日～2回
多発時	カメムシ ミドリヒメヨコバイ	ロディー乳剤	2000倍	7日～4回
降雨が多い場合	褐色腐敗病・ 黒点病	ストロビーDF	2000倍	14日～3回

**病害虫防除**

10月に入っても高温多雨の日が続く場合は、黒点病の防除が必要です。ただし、収穫時期に近づいてくるため、収穫前日数には注意しましょう。また、秋期のミカンハダニ被害は、収穫時の果実の外観に大きく影響するので、防除を徹底しましょう。

気候の温暖化により、病害虫の発生時期が伸びる傾向にありますので、園地をよく観察して被害の発生に注意しましょう。

時期	品種	肥料名	施肥量
10月下旬	早生	粒状固形B080	3袋/10a
11月上旬	青島	粒状固形248	3袋/10a

**秋肥**

秋肥は、果実生産により弱った樹勢の回復、耐寒性の向上、翌春の着花量や発芽量を確保することを目的に施用します。

**樹上選果**

樹上選果では、病害虫被害果やキズ果、粗皮果等の外観不良果と規格外の大きさの果実を摘果します。果梗枝が太い天成り果などは、秋芽が発生しないよう剪定鋏を使って果梗枝ごと基部から間引きします。商品価値の低い果実をあらかじめ摘果しておくことで、収穫作業や家庭選果の省力化につながります。



収穫に向けて

果樹林産センター 信方浩志郎